

2022年度 独創的研究助成費 実績報告書

2023年 3月 7日

報告者	学科名	建築学科	職名	准教授	氏名	穂苅 耕介
研究課題	地域遺産としての「大きな空き家」の活用を起点とした「小さな共同体」の形成に関する実践的研究					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	穂苅耕介	建築学科・准教授	都市計画	統括・とりまとめ	
	分担者	西川博美	建築学科・准教授	都市史	史料の分析	
研究実績の概要	<p>全国の空き家問題において地域社会から放擲される空き家の中には、かつて地域の発展に寄与してきたにもかかわらず文化財としての価値が十分ではないと見なされるなどして法律上の保存対象とならなかった建物も少なからず存在し、そこには元々地域の名主や商家として栄えた「大きな空き家」も見られる。本研究では、吉備中央町豊野地区の元大庄屋＝小出庄屋と福山市鞆町の旧中村薬局（いずれも大きな空き家）を対象として維持管理や相続の問題など、様々な事情で地域社会から放擲された「大きな空き家」に地域遺産としての価値を見出し、地域コミュニティの再編による「小さな共同体」の形成に向けたアクション・リサーチを行った。</p> <p>事例1 吉備中央町豊野地区「小出庄屋」</p> <p>吉備中央町豊野地区の小出庄屋は、江戸時代の大庄屋で、村が飢饉に見舞われた際には自らの財を投げ打って救うなどの功績がある。空き家となった建物は、江戸時代に建てられた母屋・長屋門を中心に、明治時代以降に生業とした診療所、酒蔵の建物を併設している（一部は移築、解体）。</p> <p>本研究では、この小出庄屋に対する地域住民の関心を確認するため、豊野地区の住民有志15名（代表：下山親志豊野公民館町）による「小出家（原砂）の保存と活用に取り組む地域住民の会」の設立（2022年）を促し、岡山県の「令和4年度地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業」として小出庄屋をめぐるオーラルヒストリー調査（右写真）を実施した。またこれを通じ、自治組織とは異なるもうひとつのコミュニティ（＝人材交流プラットフォーム）による重層的コミュニティの生成とその可能性を検討した。</p>					



写真 空き家である小出庄屋をめぐるオーラル・ヒストリー調査の様子（地域住民と研究室の学生らによる）

※ 次ページに続く

研究実績
の概要

事例2 福山市鞆町「旧中村薬局」

福山市鞆町の旧中村薬局は、江戸中期に保命酒の発明・醸造・販売で財を成した中村家晩年の家（江戸時代の建物）である。この建物は、重伝建地区に位置しながら使い手がなく空き家となっていたが、数年前にリフォーム工事なども手掛ける近隣のガス販売会社（S社）が購入し、その後空き家再生プロジェクトとして、入居希望者を募り地域に開かれたワーキングスペースとしての活用検討が行っている。本研究では、そのプロジェクトメンバー（S社、入居者）と協力関係を構築のうえ、近隣の飲食、宿泊、福祉施設、空き家の利活用に関心を寄せる地元大学の教員などとコミュニケーションを図り、空き家の所有者・入居者と近隣コミュニティ、地域内外の空き家の関心層を結ぶ場づくりを図った（右図：ガス会社のブログにその様子が掲載されている）。

今後の予定

以上よりアクション・リサーチを通じて空き家を起点とした小さな共同体の形成の可能性を見た一方、大きな家（の所有者）と地域社会との間に心理的な分断が内在していることも確認した。今後は、空き家をめぐる小さな共同体が生成され醸成されていくプロセスを動的かつ詳細に把握することを通じて、大きな空き家に対し地域社会はどのように受け止めるあり方があるのか、また地域社会は内在する分断をどのように扱い乗り越えうるあり方があるのかを見ていきたいと考えている。



終了後は簡単な懇話会を、話が盛り上がり、終わる頃にはすっかり暗くなっていました。少しずつですが、様々な形、シーンで変われるようになってきた旧中村薬局。これからも色々な人が集まれる、開わりやすい場を創っていただけると幸いです。

さて、旧中村薬局では1日単位でお店を開ける「1 DAY MARKET」を開催しております（いわゆる、レンタルスペース）。出店者を随時募集中です。気になる方は、お気軽に連絡くださいな！

《今後のスケジュール》
2月5日（日）朝の酒のおいしい1日

こんな感じでの出店していただいております。

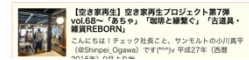


図 S社の鞆・福山活性化ブログ

<http://sun-malt.com/>

（最終閲覧日 2023年3月6日）

成果資料目録

- ・大きな空き家を起点とした生活史集『農村に生きる、語りの地図帖 小出庄屋をめぐる豊野・竹荘地区の生活史』（調査・取りまとめは、令和4年度地域に飛び出せ大学生！おかやま元気！集落研究・交流事業として実施、その土台となる小さな共同体形成に関わる枠組みを本研究で実施）